

何からしなければ ならないのでしょうか

上着からぬがないで、下着からぬぐことはできますか。くつをはいたままで、くつしたをぬぐことはできますか。すべてのことには順序があるように、信仰生活にも順序があります。

きょうのみことば

ヨハネ 1:2

愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

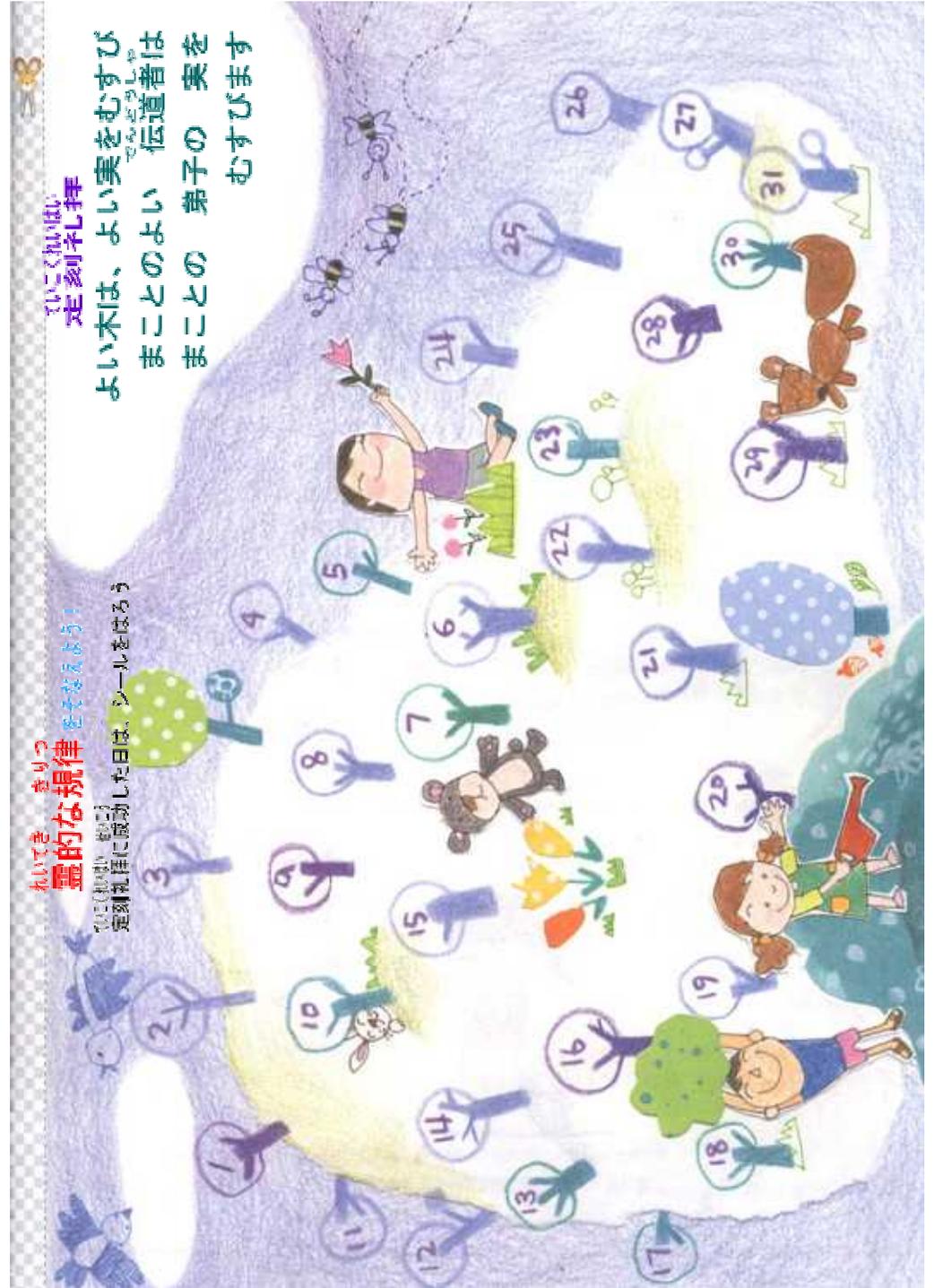
1. 福音を正確にさとらなければなりません
イエス様がすべての問題を解決されたキリストであるという事実が信じられますか。福音を正確にさとれば、ますます変わっていく私の考えと私の行動をながめながら「イエス様が本当にキリストなのだな!」という告白をするようになります。福音の根がたましいの中にどんどんおれば、おどろくべき答えと力を体験します。

2. 福音のバトンを伝えなければなりません
福音は、リレーのように世界福音化されるその日まで、福音のバトンをずっと渡して行かなければなりません。福音を正確にさとった人は、福音のバトンを伝えることができます(伝道者)。神様は伝道者にすべての関心をそそいでおられます。いつもともにて、聖霊で働いて、行く所ごとに天の軍隊、御使いを送って助けてくださいます。また、だまして誘惑する、暗やみの勢力をしばって離れ去るようにされます。

3. 毎日、新しく変化しなければなりません
私たちは、イエス様をキリストとして受け入れた瞬間、新しい存在(被造物)になりました。これからイエス様を信じる前の私の考え、私の力、私の能力を捨てて、神様がくださる霊的な新しい力でこの世で勝利しましょう。

イエス様がキリストであるという契約をにぎる伝道者として、私を呼んでくださって、ありがとうございます。神様があたえてくださった霊的な新しい力で、現場で勝利させてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検: 昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



定刻礼拝

霊的な規律を学ばよう!

よい木は、よい実をむすび
まことのよい 伝道者は
まことの 弟子の 実を
むすびます



金曜日
3

きょうのみことば

詩篇 23:1

主は私の羊飼いです。私は
乏しいことはありません。

霊的な頂上にあがって 勝利しよう

山の頂上まであがろうとすれば、力がたくさんあります。しかし、頂上にいったんあがると、世の中を一望することができます。それは、最高の気分です。霊的な頂上に立った時もそのような気分です。

1. 準備体操で、からだをほぐしましょう
霊的な準備体操は、問題がきた時に揺れないで「イエス様ならばどのようにされるでしょうか」と質問をします。ものすごく高いと見られる「問題」という山と、解決できないと思った「事件」という谷を福音の目でながめましょう。神様はレムナントに山と谷を越えられる豊かな力をすでにみなくださいました。

2. 頂上に向かって一歩ずつ挑戦しよう
羊を救うために、毎日、石を投げる練習をしたダビデが、石一つでイスラエルの大きな問題だったゴリヤテを倒しました。現場でインマヌエルを味わっているならば、ゴリヤテのような問題がきます。その時、ダビデのように挑戦してみましょう。ゴリヤテを倒したように、神様のみわざが現れます。

3. 頂上に向かって大きい祝福を味わいましょう
霊的な頂上にあがったダビデは、いつも神様を味わって(インマヌエル)、聖霊の導きにしがたって生きていました。頂上に向かって一歩ずつ踏み出しているレムナントが味わう祝福です。この祝福を一人だけで味わわずに、福音を知らないおともだちにも話しましょう。

霊的な頂上に向かって挑戦するレムナントとして呼んでくださって感謝します。終わりまで、あきらめないで、信仰で挑戦するダビデのようなレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

2009 WRC

World Remnant Conference

ぬりえ

霊的な頂上で人生の絵をえがくレムナントの姿です。色をきれいにぬってね。



4日(土)

ゆみ げん 弓と弦で みらい 未来をえがこう

「ヒュー、いよいよきたんだなあ」
シズちゃんが大きなためいきをつきました。今日が、まさに伝道キャンプをする日だからです。とくに、はずかしがり屋のシズちゃんは、キャンプ現場に出て行くのがとてもきらいでした。シズちゃんは、机の上に座って、一時間、どのようにすればキャンプ現場に出て行かなくてよいかを悩みました。しかし、ちっともよい考えが思い浮かびませんでした。ところが、その時、ベッドの横にたておいたバイオリンが見えました。

「そうだ! ついて行くふりをして、途中で、バイオリンのおけいこがあると行ってあげよう」
シズちゃんは、「わたしは、ほんとうにかしこいなあ」と思いながら、足取り軽く、教会へ向かいました。

「今回の伝道キャンプの主題は、『聖霊の導きを受けるキャンプ』です。神様が備えておかれた答えを確認して帰ってくるように祈りましょう」
伝道師先生のみことばを後にして、頭をずっと下げていたシズちゃんは、片方の肩にバイオリンを持って友だちと先生について公園と遊び場へ向かいました。

「神様、本当に遊び場で、何もないようにしてください。私は本当に、はずかしくて死にそうです」

シズちゃんは、心から祈りました。

しばらくして、シズちゃんのそばにいた、とても言葉がどもる人がブランコに乗っている子どもに福音を伝えに行きました。シズちゃんの後ろにいた背が低くて、ぼおとした弱い子どもも遠くにいた、自分よりとってもはるかに背が

高い子に福音を伝えるために
行きました。シズちゃんは、この時だと思っただけです。シズちゃんの心は、ドキドキして後ろを向いて全速力で走ろうとしたとたんでした。

「いたい!!」

「あつ。ごめんね。だいじょうぶ?」

ひとりの子が、シズちゃんのバイオリンの箱にぶつかって倒れました。

「オ、なにかが私のおでこにあたってよ!」

子どもは、おでこを手でこすりながら話しました。

「ア、これ、バイオリンなのよ!」

「へえ、これがバイオリンなんだ。絵ではたくさん見たけど。お姉ちゃん、これ弾いたらどんな音がするの?」

「ひいてあげようか」

その子は大きくうなずきました。シズちゃんは、弓を持って、

バイオリンを弾きました。そうしたら、子どもたちが一人、一人、集まってきはじめてたのです。先生と

伝道師先生がシズちゃんが演奏する間に、集まってきた子どもたちに福音を伝えました。

「神様、バイオリンを弾くタラント(専門性)がこのように用いられるのですね。伝道キャンプがきらいで、にげたかったけど、このようにいのちを生かす伝道キャンプに用いられるようにして下さってありがとうございます」

シズちゃんは、子どもたちが一人一人、

受け入れる姿を見ながら、感謝の祈りをささげました。

ていこいの
定刻祈りの点検:

昼 12時

教会のために祈りましょう。

夜 9時

RUTCのために祈りましょう